



3F complex665 6-5-24
Roppongi Minato-ku
Tokyo Japan 106-0032
t +81 3 6434 7010
f +81 3 6434 7011
tig@takaishiigallery.com
www.takaishiigallery.com

Taka Ishii

Gallery

畠山 直哉 Naoya HATAKEYAMA

- 1958 岩手県陸前高田市生まれ
- 1981 筑波大学芸術専門学群総合造形コース卒業
- 1984 筑波大学大学院芸術研究科修士課程デザイン専攻修了
- 1997 第 22 回木村伊兵衛写真賞受賞
- 2000 第 16 回東川賞国内作家賞受賞
- 2001 第 42 回毎日芸術賞受賞
第 49 回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館参加
- 2003 日本写真協会年度賞受賞
- 2012 芸術選奨文部科学大臣賞受賞
第 13 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館参加（金獅子賞受賞）
- 2015 文化庁文化交流使としてメキシコを中心に 5 ヶ月間活動
紫綬褒章受章
- 2016 日本写真協会作家賞受賞
東京藝術大学大学院映像研究科教授（メディア映像）
- 2025 日本芸術院会員

個展

- 2024 「津波の木」タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2023 「Yokohama Souvenir」ケルン市立東洋美術館（ケルン、ドイツ）
- 2022 「津波の木」PURPLE（京都）
「Taiza, Tango」卅（京都）
- 2019 「光のマケット」テート・モダン（ロンドン、イギリス）
- 2018 「Naoya Hatakeyama: Excavating the Future City」ミネアポリス美術館（ミネアポリス、ミネソタ州、アメリカ）[カタログ]
「陸前高田 2011-2017」リュウ・ユニーク（ナント、フランス）
- 2017 「陸前高田 2011-2016」グアナフアト芸術歴史美術館（レオン、メキシコ）
- 2016 「まっぶたつの風景」せんだいメディアテーク（宮城）[カタログ]
「Underground / Water」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー パリ（パリ、フランス）
- 2015 「陸前高田 2011-2014」銀座ニコンサロン（東京、3月25日-4月7日）；その後 大阪ニコンサロン（大阪、4月30日-5月13日）へ巡回
- 2013 「Blast」タカ・イシイギャラリー（東京）
「気仙川／陸前高田2011」エスパス・ル・カレ（リール、フランス）

- 2011 「Terrils」 コールファス・ギャラリー（ヘント、ベルギー）
「Natural Stories」 東京都写真美術館（東京、10月1日-12月4日）；その後 ハウス・マルセイユ
写真美術館（アムステルダム、オランダ、2011年12月16日-2012年2月26日）；サンフランシス
コ近代美術館（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ、2012年7月28日-11月4日）
へ巡回[カタログ]
- 2010 「Terrils」 ルワルド鉱業歴史センター（ルワルド、フランス）
「Blast」 草場地撮影季（北京、中国）
「線をなぞる/山手通り」 タカ・イシイギャラリー（東京）
「Scales」 大和日英基金（ロンドン、イギリス）
- 2009 「光のマケット」 タカ・イシイギャラリー京都（京都）
「Naoya Hatakeyama」 アルル国際写真祭（アルル、フランス）
- 2008 「Ciel Tombé」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2007 「Draftsman's Pencil」（今日の作家XI：鷺見和紀郎・畠山直哉）神奈川県立近代美術館 鎌倉
（神奈川）[カタログ]
「Scales」 カナダ建築研究所（モントリオール、カナダ）
「A BIRD」 空蓮房（東京）
- 2006 「二つの山」（バルタザール・ブルクハルト、畠山直哉）東京アートミュージアム（東京）
「Zeche Westfalen I/II Ahlen」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2005 「Tokyo, A City of Light」 サンタフェ大学マリオン・センター（サンタフェ、ニューメキシコ州、
アメリカ）
「Naoya Hatakeyama」 クンストハレ・ザンクト・アネン（リューベック、ドイツ）
- 2004 「Atmos」 L.A.ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
「Naoya Hatakeyama」 C/O Berlin（ベルリン、ドイツ）
「Atmos」 大阪成蹊大学芸術学部 space B（大阪）
- 2003 「Naoya Hatakeyama」 アルル国際写真祭（アルル、フランス）
「Naoya Hatakeyama」 BBK 財団（ビルバオ、スペイン）
「Atmos」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2002 「Slow Glass」 ノーザン・ギャラリー（サンダーランド、イギリス）；ウィンチェスター・ギャラ
リー（ウィンチェスター、イギリス）；インプレッションズ・ギャラリー（ヨーク、イギリス）；
ディック・インスティテュート（キルマーノック、グラスゴー、イギリス）ほか巡回
「Naoya Hatakeyama」 ハノーファー美術協会（ハノーファー、ドイツ）；クンストハレ・ニュル
ンベルク（ニュルンベルク、ドイツ）；ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オラ
ンダ）へ巡回
「畠山直哉写真展」 岩手県立美術館（岩手、8月3日-9月16日）；国立国際美術館（大阪、11
月7日-12月17日）へ巡回
「Slow Glass」 L.A.ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
「Slow Glass」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2001 「UNDER CONSTRUCTION」（畠山直哉、伊東豊雄）AA スクール（ロンドン、イギリス）；コ
ロンビア大学建築ギャラリー（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）へ巡回
- 2000 「Lime Works」 コロンビア大学建築ギャラリー（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
「Underground」 L.A.ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）

- 1999 「Underground」 中京大学アートギャラリー C・スクエア（愛知）
「Underground」 マサタカ ハヤカワ ギャラリー（東京）
- 1998 「畠山直哉」 結城市民文化センター（茨城）
「BLAST」 ギャラリーNW ハウス（東京）
「Naoya Hatakeyama」 L.A. ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
- 1997 「Lime Works」 ミノルタフォトスペース（東京、大阪ほか）
- 1996 「都市のマケット」 ギャラリーNW ハウス（東京）
「Lime Works」 ローマ日本文化会館（ローマ、イタリア）；ディアゴナーレ・マルチメディ
ア・センター（ローマ、イタリア）へ巡回
- 1994 「Lime Works」 ギャラリーNW ハウス（東京）
「The City and its Origin」 フォックス・トルボット博物館（レイコック、イギリス）
- 1991 「Lime Works」 フォト・インターフォーム（大阪）
- 1990 「A travers la Tunisie」 アラブ世界研究所（パリ、フランス）
- 1989 「等高線」 エルヴィル劇場（カン、フランス）；アルトテック・ドゥ・ナント（ナント、フ
ランス）；ファレーズ市立図書館（ファレーズ、フランス）へ巡回
- 1988 「Lime Hills」 ツァイト・フォト・サロン（東京）
- 1987 「Lime Hills」 フォト・インターフォーム（大阪）
- 1986 「畠山直哉」 東京造形大学（東京）
- 1983 「等高線」 ツァイト・フォト・サロン（東京）

主なグループ展

- 2026 「TOP コレクション Don't think. Feel.」 東京都写真美術館（東京）
「コレクション 3 反射する都市」 国立国際美術館（大阪）
- 2025 「Metamorphosis: Space and Society in the Idealist Collection」 Serrería Belga（マドリード、ス
페인）
「東京ビエンナーレ 2025」 エトワール海渡リビング館（東京）
「The Way of Nature: Art from Japan, China, and Korea」 ボルチモア美術館（ボルチモア、メリ
ーランド州、アメリカ）
「ニュー・ユートピア——わたしたちがつくる新しい生態系」 弘前れんが倉庫美術館（青森）[カ
タログ]
「Memento: Photography, interrupted」 ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オラ
ンダ）
「総合開館 30 周年記念 TOP コレクション 不易流行」 東京都写真美術館（東京）[カタログ]
- 2024 「Making It Matters」 M+（香港）
「TRIO バリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション」 東京国立近代美術館（東京、5 月 21
日-8 月 25 日）；その後 大阪中之島美術館（大阪、9 月 14 日-12 月 8 日）へ巡回[カタログ]
「ヨーゼフ・ボイス ダイアローグ展」 GYRE GALLERY（東京）
「写真をめぐる 100 年のものがたり」 静岡市美術館（静岡）[カタログ]
「未来都市シブヤ エフェメラを誘発する装置」 GYRE GALLERY（東京）

- 2023 「東京ビエンナーレ 2023」 エトワール海渡リビング館（東京）
「写真展 福島、東北 写真家たちが捉えた風土／震災」 福島県立博物館（福島）
「回復する」 猪熊弦一郎現代美術館（香川）
「Chêne Pointu」 シェース・ボワンテュ・ショッピングセンター（クリシー＝ス＝ボワ、フランス） [カタログ]
- 2021 「リバーシブルな未来：日本・オーストラリアの現代写真」 東京都写真美術館（東京） [カタログ]
「森と水と生きる」 長野県立美術館（長野） [カタログ]
大林コレクション展「都市と私のあいだ」 WHAT MUSEUM（東京）
「Listening to the Stones」 クンストハウス・ドレスデン（ドレスデン、ドイツ） [カタログ]
- 2020 「DOMANI・明日 2020 傷ついた風景の向こうに」 国立新美術館（東京） [カタログ]
「Thank You Memory — 醸造から創造へ —」 弘前れんが倉庫美術館（青森）
「Pictures from Another Wall: The collection of Huis Marseille at De Pont」 デ・ポン美術館（テイルブルフ、オランダ）
- 2019 「Parergon: Japanese Art of the 1980s and 1990s」 BLUM & POE（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ） [カタログ]
- 2018 「カタストロフと美術のちから」 森美術館（東京） [カタログ]
「2018 ソウルフォトフェスティバル/Brave New World」 ソウル市立美術館（ソウル、韓国）
「A Beautiful Moment」 ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）
「s.m.a.r.t: paths towards sustainability」 PHotoESPAÑA（マドリッド、スペイン）
「建築の日本展：その遺伝子のもたらすもの」 森美術館（東京） [カタログ]
開館 40 周年記念展 「トラベラー:まだ見ぬ地を踏むために」 国立国際美術館（大阪） [カタログ]
- 2017 「ヨコハマトリエンナーレ 2017」 横浜美術館（神奈川） [カタログ]
「On The Art of Building a Teahouse: Excursions into Japanese Aesthetics」 ニュルンベルク新美術館（ニュルンベルク、ドイツ）
「椿会展『初心』2017」 資生堂ギャラリー（東京）
「Japan-ness. Architecture and urbanism in Japan since 1945」 ポンピドゥー・センター・メス（メス、フランス） [カタログ]
「Japanorama. A new vision on art since 1970」 ポンピドゥー・センター・メス（メス、フランス） [カタログ]
- 2016 「写真の<原点>再考ーヘンリー・F・トルボット『自然の鉛筆』から」 京都国立近代美術館（京都）
「ニュー“コロニー／アイランド”2 ～災害にまつわる所作と対話～」 アートエリア B1（大阪）
「椿会展『初心』2016」 資生堂ギャラリー（東京）
「風景のかたちー前田真三と現代日本の風景写真」 足利市立美術館（栃木）
「Japanese Photography from Postwar to Now」 サンフランシスコ近代美術館（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）
「Eaux troubles, Eaux calmes」 フランソワ・シュナイダー財団（ヴァットヴィレール、フランス）
「The Edge of the Earth: Climate Change in Photography and Video」 ライアソン・イメージ・センター（トロント、カナダ）
「The Japanese House. Architecture & life after 1945」 イタリア国立 21 世紀美術館（ローマ、イ

- タリア、2016 年 11 月 9 日-2017 年 2 月 26 日)；その後 パービカン・センター (ロンドン、イギリス、2017 年 3 月 22 日-6 月 25 日)；東京国立近代美術館 (東京、2017 年 7 月 19 日-10 月 29 日) へ巡回[カタログ]
- 2015 「椿会展『初心』2015」資生堂ギャラリー (東京)
「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」ボストン美術館 (ボストン、マサチューセッツ州、アメリカ)
- 2014 「Traces of Disappearance」エスパス ルイ・ヴィトン東京 (東京) [カタログ]
「椿会展『初心』2014」資生堂ギャラリー (東京)
「WARAKOH think and feel 東北 vol.2 変わったもの、変わらずにあるもの」藁工ミュージアム (高知)
「タマ／アニメ (わたしに息を吹きかけてください) 内藤礼 畠山直哉 写真」ギャラリー小柳 (東京)
「The Marseillaise / fifteen years of collecting」ハウス・マルセイユ写真美術館 (アムステルダム、オランダ)
企画展示「都市と自然」(札幌国際芸術祭 2014) 北海道立近代美術館 (北海道)
「これからの写真」愛知県美術館 (愛知)
「Transmission」スタジオ 35 分 (東京)
「THE MIRROR: Hold the Mirror up to nature」名古屋商工会館 (東京)
「3.11 以後の建築」金沢 21 世紀美術館 (石川、2014 年 11 月 1 日-2015 年 5 月 10 日)；水戸芸術館 (茨城、2015 年 11 月 7 日-2016 年 1 月 31 日) へ巡回
- 2013 「『ここに、建築は、可能か』第 13 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館帰国展」TOTO ギャラリー間 (東京)
「つくりが生きること：東日本大震災復興支援プロジェクト展」デザイン・クリエイティブセンター神戸 (兵庫)
「椿会展『初心』2013」資生堂ギャラリー (東京)
「高橋コレクション展 マインドフルネス！」鹿児島県霧島アートの森 (鹿児島、7 月 12 日-9 月 1 日)；その後 札幌芸術の森美術館 (北海道、9 月 14 日-11 月 24 日) へ巡回[カタログ]
「堂島リバービエンナーレ 2013『Little Water』」堂島リバーフォーラム (大阪)
「WORLD IMAGES 5」ヘルムハウス (チューリヒ、スイス)
「ラスト・シーン」中京大学アートギャラリー C・スクエア (愛知)
- 2012 「東北 - 風土・人・くらし」中華世紀壇世界美術館 (北京、中国) ほか巡回
「3.11 とアーティスト：進行形の記録」水戸芸術館 (茨城)
「ここに、建築は、可能か」第 13 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館 (ヴェネチア、イタリア) [カタログ]
国立国際美術館開館 35 周年記念展「コレクションの誘惑」国立国際美術館 (大阪)
「つくりが生きること：東日本大震災復興支援プロジェクト展」3331 Arts Chiyoda (東京)
- 2011 「Documented, Doubtful and Imagined Realities: Contemporary Photography from Japan and Taiwan」Yi&C Contemporary Art (台北、台湾) [カタログ]
「所蔵作品展 近代日本の美術 第 1 回」東京国立近代美術館 (東京)
「Remembrance of the Future to Come」Former “Plug in” (バーゼル、スイス)
- 2010 「Ruptures and Continuities: Photography Made After 1960 From the MFAH Collection」ヒュー

- ストン美術館（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）
「Landscape without Horizon」 シュロス・モイランド美術館（ベドブルグ・ハウ、ドイツ）
[カタログ]
- 「Beyond Mediations」 メディエーションズ・ビエンナーレ（ポズナン、ポーランド）
「陰影礼讃—国立美術館コレクションによる」 国立新美術館（東京）
- 2009 「中国現代美術との出会い—一日中当代芸術にみる21世紀的未来—」 栃木県立美術館（栃木）
[カタログ]
- 「Nippon Kōbō」 FORMA（ミラノ、イタリア）
「Prix Pictet: Earth」 パッサージュ・デ・レ（パリ、フランス、10月23日-11月24日）；その後 モスクワ写真美術館（モスクワ、ロシア、2010年5月27日-6月27日）；FORMA（ミラノ、イタリア、2010年10月5日-17日）ほか巡回[カタログ]
- 2008 「First Doubt: Optical Confusion in Modern Photography」 イェール大学アートギャラリー（ニューヘイヴン、コネチカット州、アメリカ）
「Asian Dub Photography」 モデナ貯蓄銀行財団（モデナ、イタリア）
「Water in Photography」 ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）
「建築の記憶：写真と建築の近現代」 東京都庭園美術館（東京）[カタログ]
「アートは心のためにある：UBS アートコレクションより」 森美術館（東京）
「Heavy Light: Recent Photography and Video from Japan」 国際写真センター（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
「写★新世界」 せんだいメディアテーク（宮城）
「Two Mountains: Naoya Hatakeyama and Balthasar Burkhard」 ザルツブルク近代美術館（ザルツブルク、ドイツ）
- 2007 「Fascination」 日本橋高島屋美術画廊 X（東京）
「An Incomplete World: Works from the UBS Art Collection」 ニューサウスウェールズ州立美術館（シドニー、オーストラリア、5月19日-8月5日）；その後 国立ヴィクトリア美術館（メルボルン、オーストラリア、2007年9月28日-2008年1月6日）へ巡回
「New Territories」 L.A.ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
「Thermocline of Art: New Asian Waves」 ZKM現代美術館（カールスルーエ、ドイツ）[カタログ]
「The Suspended Moment」 Z33（ハッセルト、ベルギー）
「Mapas, cosmogonías e puntos de referencia」 ガリシア現代美術センター（サンディアゴ・デ・コンポステーラ、スペイン）[カタログ]
「Global Cities」 テート・モダン（ロンドン、イギリス）
「美麗新世界—当代日本視覚文化」 広東美術館（広州、中国）、Inter Art Center（北京、中国）、Long March Space、（北京、中国）、BTAP - Beijing Tokyo Art Projects（北京、中国）
[カタログ]
- 2006 「Eyes of An Island」 マイケル・ホッペン・ギャラリー（ロンドン、イギリス）
「昭和の記憶—写真に魅る人々の情景—」 群馬県立館林美術館（群馬）
「Tunnel Vision」 アントワープ写真美術館（アントワープ、ベルギー）
「11 Contemporaries」 マイケル・ホッペン・ギャラリー（ロンドン、イギリス）
「Spectacular City: Photographing the Future」 オランダ建築研究所（ロッテルダム、オランダ）

- ダ)、NRWフォーラム (デュッセルドルフ、ドイツ)
- 「L'ÉCHO DES COLLECTIONS - carte blanche à Jacques Py」ル・リング、アルトテック・ドゥ・ナント (ナント、フランス)
- 「コレクション3」国立国際美術館 (大阪)
- 2005 「第26回サンパウロ・ビエンナーレ・セレクション」チリ大学芸術学部現代美術館 (サンティアゴ、チリ)
- 「Le Temps Suspendu: H & F Collection」アルザス現代芸術センター (アルトキルシュ、フランス)、ヴィーゴ現代美術館 (ヴィーゴ、スペイン)
- 「Landschaft als Metapher」ウルズラ・ブリックル財団 (クライヒタル、ドイツ)
- 「Das verlorene Paradies : die Landschaft in der zeitgenössischen Photographie」オペルヴィレン財団 (リュッセルスハイム・アム・マイン、ドイツ)
- 「Multiple Räume (2) Park」バーデン＝バーデン国立美術館 (バーデン＝バーデン、ドイツ)
- 「光と影の彼方に：まなざし・記憶・希望」北海道立釧路芸術館 (北海道)
- 「Photographing Architecture」ギャラリー・クレアフォンタル (ルクセンブルク、ルクセンブルク)
- 「風景遊歩 sight-cruising」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 (香川) [カタログ]
- 「コレクション2」国立国際美術館 (大阪)
- 「時代を切り開くまなざしー木村伊兵衛写真賞の30年ー1975-2005」川崎市市民ミュージアム (神奈川)
- 「85/05ー幻のつくば写真美術館からの20年」せんだいメディアテーク (宮城) [カタログ]
- 2004 「六本木クロッシング：日本美術の新しい展望 2004」森美術館 (東京)
- 「メディアアリーナ：日本のコンテンポラリー・アート」ゴベット・ブリュースター・アートギャラリー (ニューブリマス、ニュージーランド)
- 「ブレインストーミング：倫理の地勢学」国立風景芸術センター (ボーモン＝デュ＝ラック、フランス)
- 「StadtRäume」クンストフォーラム・バロワ (バーゼル、スイス)
- 「Natur nach Maß!？」ツェッヒェ・ヴェストファーレン (アーレン、ドイツ)
- 「smt コンストラクション・ワンダーランド」せんだいメディアテーク (宮城)
- 「Metamorph」ヴェネチア・ビエンナーレ第9回国際建築展 (ヴェネチア、イタリア) [カタログ]
- 「Take Five! Huis Marseille Turns Five」ハウス・マルセイユ写真美術館 (アムステルダム、オランダ)
- 「Aspects of Architecture: Photographs from the V&A Collection and the Sheffield City Collection」グレーヴス・ギャラリー (シェフィールド、イギリス)
- 「Territorio livre」第26回サンパウロ・ビエンナーレ (サンパウロ、ブラジル)
- 「The Secret Forest of Princess Knight: Fantastic Landscapes from Japan」M.Y.アート・プロスペクツ (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 「Do You Believe in Reality?」台北ビエンナーレ、台北市立美術館 (台北、台湾)
- 「10周年展」タカ・イシイギャラリー (東京)
- 2003 「Histories of Photography」フランシス・リーマン・ロープ・アートセンター (ポキプシー、ニューヨーク州、アメリカ)

- 「JAPAN - Keramik und Fotografie - Tradition und Gegenwart」ダイヒトアハレン・ハンブルク
(ハンブルク、ドイツ) [カタログ]
- 「The History of Japanese Photography」ヒューストン美術館 (ヒューストン、テキサス州、アメリカ)、クリーヴランド美術館 (クリーヴランド、オハイオ州、アメリカ) [カタログ]
- 「Juegos de Escala」ガリシア現代美術センター(サンティアゴ・デ・コンポステラ、スペイン)
- 「Innatura」第10回国際写真ビエンナーレ (トリノ、イタリア)
- 「Timeframes」ジャパン・ソサエティ (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 「L'attitude」ブライス・ウォルコウィッツ・ギャラリー (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 「Consuming Nature」コロンビア・カレッジ・シカゴ現代写真美術館 (シカゴ、イリノイ州、アメリカ)
- 「Mask of Japan: Contemporary Japanese Photography」アウラ・ギャラリー (上海、中国)、広東美術館 (広州、中国)
- 「Kokoro no Arika, Location of the Spirit: Contemporary Japanese Art」ルートヴィヒ美術館 (ブダペスト、オーストリア)、モスクワ市現代美術館 (モスクワ、ロシア)
- 2002 「未完の世紀：20世紀美術がのこすもの」東京国立近代美術館 (東京)
- 「Episode」ウォーリック大学ウォーリックアーツセンター・ミードギャラリー (コヴェントリー、イギリス)
- 「Orte des Unsichtbaren: Medienkünstler aus Japan und Korea」ケルン日本文化会館 (ケルン、ドイツ)
- 「12人の挑戦：大観から日比野まで」水戸芸術館 (茨城)
- 「DER BERG」ハイデルベルク美術協会 (ハイデルベルク、ドイツ)
- 2001 「Bauart. Die Kunstsammlung der Heidelberger Zement AG」クアプファルツ博物館 (ハイデルベルク、ドイツ) [カタログ]
- 「Fast & Slow」第49回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館 (ヴェネチア、イタリア)
- 「La Espiritualidad del Vacío」バンカハ財団 (バレンシア、スペイン) [カタログ]
- 「Out of Japan」ヴィクトリア&アルバート博物館 (ロンドン、イギリス)
- 「Monets Vermächtnis: Serie - Ordnung und Obsession」ハンブルク美術館 (ハンブルク、ドイツ) [カタログ]
- 「New Heimat」フランクフルト美術協会 (フランクフルト、ドイツ)
- 「Urban Pornography」アーティスト・スペース (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 2000 「予兆：アジアの映像芸術展」国際交流基金フォーラム (東京) [カタログ]
- 「-scape:」マサタカ ハヤカワ ギャラリー (東京)
- 「Yume No Ato: Was vom Traum blieb ... Zeitgenössische Kunst aus Japan」ハウス・アム・ヴァルトゼー (ベルリン、ドイツ)、バーデン＝バーデン国立美術館 (バーデン＝バーデン、ドイツ)
- 「第16回東川賞受賞作家作品展」東川町文化ギャラリー (北海道)
- 「Landschaft in der zeitgenössischen Fotografie」オルデンプルク州立博物館 (オルデンプルク、ドイツ)
- 1999 「大辻清司と15人の写真家たち」東京造形大学 (東京)
- 「Modena per la Fotografia 1999」モデナ市民ギャラリー (モデナ、イタリア) [カタログ]
- 「Wohin kein Auge reicht」ハンブルク写真トリエンナーレ、ダイヒトアハレン (ハンブルク、

- ドイツ)
- 「木村伊兵衛写真賞の軌跡 1975-1999」川崎市市民ミュージアム (神奈川)
- 「Toyo Ito: Blurring Architecture」ズーエモント・ルートヴィヒ美術館 (アーヘン、ドイツ)
- 1998 「写真の現在：距離の不在」東京国立近代美術館フィルムセンター (東京) [カタログ]
- 「À prova de água: Waterproof」ベレム文化センター (リスボン、ポルトガル) [カタログ]
- 「Asia City」ザ・フォトグラファーズ・ギャラリー (ロンドン、イギリス) [カタログ]
- 「21st Anniversary ZEIT-FOTO-幻の NICA F1998 年展に代えて」アートスペースシモダ (東京)
- 「Speed: Visions of an Accelerated Age」ザ・フォトグラファーズ・ギャラリー (ロンドン、イギリス) [カタログ]
- 「Donai Yanen ! Et maintenant !: La création contemporaine au Japon」国立高等美術学校 (パリ、フランス) [カタログ]
- 1997 「Interferenzen」L.A.ギャラリー (フランクフルト、ドイツ)
- 「LAZUR 夜想鉾物展」デルタ・ミラージュ (東京)
- 「都市のイメージ 東京国立近代美術館の写真コレクションより」東京国立近代美術館フィルムセンター (東京)
- 「Lust und Leere. Japanische Photographie der Gegenwart」クンストハレ・ウィーン (ウィーン、オーストリア、4月25日-7月20日)；その後 ヨーロッパ巡回
- 「時間/視線/記憶：90年代美術にみる写真表現」東京都現代美術館 (東京) [カタログ]
- 「アートは楽しい8:複製時代」原美術館 ARC (群馬)
- 1996 「LAND OF PARADOX」フォトグラフィック・リソース・センター (ボストン、マサチューセッツ州、アメリカ)；その後 アメリカ、日本巡回
- 「アイデアル・スタンダード・ライフ」スパイラルガーデン (東京)
- 「第32回今日の作家展 ニュー・ジャパニーズ・フォトグラフィ 1990's 無意識の共鳴」横浜市民ギャラリー (神奈川)
- 1995 「アナザー・リアリティー -現代写真の動向」川崎市市民ミュージアム (神奈川)
- 1994 「Liquid Crystal Futures: Contemporary Japanese Photography」フルーツマーケット・ギャラリー (エジンバラ、イギリス)；その後 ヨーロッパ、東京巡回 [カタログ]
- 「欲望の砂漠」スパイラルガーデン (東京)
- 「カワサキ・モニュメント」川崎市市民ミュージアム (神奈川)
- 1993 「In die Felsen bohren sich Zikadenstimmen: Zeitgenössische Japanische Fotografie」クンストハウス・チューリッヒ (チューリッヒ、スイス) [カタログ]
- 1992 「現代写真の母型3」川崎市市民ミュージアム (神奈川)
- 1991 「コンテンポラリー フォトグラフィー 日本の14人展」日本橋三越アールクリオ (東京) [カタログ]
- 「オリエンタリズム検証」ツァイト・フォト・サロン (東京)
- 「Vach'image」MJC de Saint Gervais (サン＝ジェルヴェ＝レ＝バン、フランス)
- 「MAKE-BELIEVE: Contemporary Photography from Japan」ザ・フォトグラファーズ・ギャラリー (ロンドン、イギリス)；その後 イギリス巡回
- 1990 「写真150年 海の写真名品展」下関市立美術館 (山口) [カタログ]
- 「日本のコンテンポラリー：写真をめぐる12の指標」東京都写真美術館 (東京)、パヴィヨン・デザール (パリ、フランス) [カタログ]

- 1989 「第9回ハラ アニュアル」 原美術館（東京）
「オリエンタリズムの絵画と写真展」 世界デザイン博覧会ホワイトミュージアム（愛知）
- 1988 「日本現代写真展」 コロンビア・カレッジ・シカゴ（シカゴ、イリノイ州、アメリカ）
「TAMA VIVANT '88」 シブヤ西武シードホール（東京）
- 1986 「Fotografia Japonesa Contemporanea」 Círculo de Bellas Artes（マドリード、スペイン）：その後 Casa Elizalde（バルセロナ、スペイン）；Diputación de Valencia Sala Parpalló（バレンシア、スペイン）；Museo de Bellas Artes de Bilbao（ビルバオ、スペイン）へ巡回
- 1985 「パリ・ニューヨーク・東京」 つくば写真美術館（茨城）[カタログ]
- 1983 「PHOTOGRAPHY 展」 画廊みやざき（大阪）
- 1982 「15 contemporary photographic expressions」 筑波大学大学会館別館（茨城）
- 1981 「カメラワークス・イグズイビション」 筑波大学大学会館ギャラリー（茨城）

出版物

- 『津波の木』 小学館、2024 年
- 『丹後-古代史の遠いこだま』（池澤夏樹との共著）河出書房新社、2024 年
- 『陸前高田市東日本大震災遺構』 赤々舎、2022 年
- 『見えている パチリ!』（大竹昭子との共著）カタリココ文庫、2022 年
- 『空蓮房：仏教と写真』（谷口昌良との共著）赤々舎、2019 年
- 『伊東豊雄：台中歌劇院』 建築資料研究社、2019 年
- 『Naoya Hatakeyama: Excavating the Future City』 Aperture Foundation、2018 年
- 『まっぶたつの風景』 赤々舎、2017 年
- 『Rikuzentakata』 Light Motiv、2016 年
- 『出来事と写真』（大竹昭子との共著）赤々舎、2016 年／増補版：小学館、2024 年
- 『陸前高田 2011-2014』 河出書房新社、2015 年
- 『畠山直哉』（ヴァガボンズ・スタンダード 4）平凡社、2015 年
- 『Kesengawa』 Light Motiv、2013 年
- 『BLAST』 小学館、2013 年
- 『気仙川』 河出書房新社、2012 年
- 『Terrils』 ライト・モチーフ／タカ・イシイギャラリー、2011 年
- 『Ciel Tombé』 スーパーラボ、2011 年
- 『話す写真 見えないものに向かって』 小学館、2010年
- 『Draftsman's Pencil』 神奈川県立近代美術館、2007年
- 『Scales』 CCA／Nazraeli Press、2007年
- 『A BIRD BLAST #130』 タカ・イシイギャラリー、2006年／新版：roshin books、2025年
- 『二つの山』（バルタサル・ブルクハルトとの共著）二つの山展実行委員会、2006年
- 『Zeche Westfalen I/II Ahlen』 Nazraeli Press、2006年／フランス語版：Textuel、2006年
- 『River Series / Shadow』 Nazraeli Press、2004年
- 『Atmos』 Nazraeli Press、2003年
- 『畠山直哉』 淡交社、2002年

『Naoya Hatakeyama』 Hatje Cantz、2002年／スペイン語・バスク語版：BBK、2003年
『Slow Glass』 Light Xchange with The Winchester Gallery、2002年
『UNDER CONSTRUCTION』（伊東豊雄との共著）建築資料研究社、2001年
『Underground』メディアファクトリー、2000年
『Lazur 透きとおる石』（大谷芳久との共著）ペヨトル工房、1997年
『ライム・ワークス』シナジー幾何学、1996年／新版：アムズ・アーツ・プレス、2002年：青幻舎、
2008年、2025年
『Naoya Hatakeyama: CITTA IN NEGATIVO -DA LIME WORKS』Diagonale s.r.l.、1996年
『等高線』CAMERA WORKS、1982年 [定期刊行物『camera works tokyo』no.9]

主なパブリック・コレクション

カナダ建築センター（モントリオール、カナダ）
国立造形芸術センター（CNAP） / 国立現代美術基金（FRAC）（パリ、フランス）
ガリシア現代美術センター（サンティアゴ・デ・コンポステラ、スペイン）
スイス写真財団（ヴィンタートゥーア、スイス）
ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）
国際写真センター（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
国際交流基金（東京）
J・ポール・グティ美術館（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）
北海道立釧路芸術館（北海道）
ヨーロッパ写真美術館（パリ、フランス）
ミルウォーキー美術館（ミルウォーキー、ウィスコンシン州、アメリカ）
ミネアポリス美術館（ミネアポリス、ミネソタ州、アメリカ）
森美術館（東京）
ヒューストン美術館（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）
ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
神奈川県立近代美術館（神奈川）
国立国際美術館（大阪）
東京国立近代美術館（東京）
プリンストン大学美術館（プリンストン、ニュージャージー州、アメリカ）
サンフランシスコ近代美術館（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）
せんだいメディアテーク（宮城）
テート（ロンドン、イギリス）
東京都写真美術館（東京）
ヴィクトリア&アルバート博物館（ロンドン、イギリス）
イェール大学美術ギャラリー（ニューヘイヴン、コネチカット州、アメリカ）
山口県立美術館（山口）